

義務教育学校の開校に向けた提言書 (校名について)

令和5年11月28日

砂川市立小中学校統合準備委員会

はじめに

砂川市立小中学校統合準備委員会（以下「準備委員会」という。）は、令和3年6月1日の設置以降、砂川市立小中学校適正配置基本計画に基づき、同計画を推進するため学校統合の準備に関し協議を進めています。

具体的には、令和4年度までは、令和5年4月の中学校統合に向けた協議を行い、今年度より義務教育学校の開校に向けた具体的な協議を行っています。まずは義務教育学校の校名について、市民等からの公募を実施し、183件の応募の中から準備委員会にて候補を3案に絞った後、市内小中学校の児童生徒の投票を実施して、子ども達の見解も踏まえながら、協議を行ってきたところでもあります。

準備委員会では、今後においても引き続き義務教育学校の開校に向けた協議を行ってまいります。義務教育学校の校名について整理したことから提言することといたします。

砂川市立小中学校統合準備委員会
会 長 松 原 重 俊

【提言事項】

- 義務教育学校の校名

提言の内容

○ 校 名

「砂川市立砂川学園」とする

統合して市内に唯一の学校となる義務教育学校の校名は、統合準備委員会で決定した校名選定の5つの視点、①砂川をイメージできる校名、②覚えやすい校名、③書きやすい校名、④言いやすい校名、⑤親しみや愛着を持てる校名、を満たし、公募においても最も応募数が多く、また児童生徒による投票でも最多得票となった「砂川市立砂川学園」がふさわしいものとする。